

奈良市 第一回アドバンスステージ研修 令和元年6月21日(金) 奈良市役所

講演 「ブロック別園内公開保育企画・運営について ～園内研修を楽しもう！～」

講師 奈良教育大学 教授 横山 真貴子氏

1 園内研修とは ～園内の仲間意識、チームとして高め合っていく場～

【園内研修のプロセス】

①実践を言葉にして伝えていく(表出化) → ②言葉にしたことを結び付けていく(連結化) → ③知識を実践して身に付けていく(内面化) → ④一人一人見つけたことをみんなで共有して組織として高めていく(共同化)のサイクルである。

【「伝達型」から「協同型」の園内研修へ】

・対話の中でみんなの知恵を出し合う。 ・下意上達(下の意見を吸い上げる) ・一人一人が主役

【保育カンファレンスとは】

・「正解」を求める場ではない ・指導の場でなくそれぞれの立場から意見を出す場 ・それぞれの成長を支え合い育ちあう。



2 園内研修の目的

- ① 子どものことを理解していこう
- ② 環境構成、教材について考えていこう
- ③ どんな援助が必要なのか



- ④ ①～③を話し合うことでチームとしての同僚性を上げていこう！

3 園内研修を始めるにあたって

- ・正解がないので多様な意見を認め合う
- ・安心感を高め合う…本音で話してもいい
- ・具体的な事例をもとに話し合う
- ・気持ちをのせて読み取ることで、自分のこととして受け取ることができる。
- ・コミュニケーションを促す。
- ・保育者の強みや持ち味を引き出す…その人のいいところはどこかを探る。
- ・研修を進めていく人はファシリテーターになる

4 園内研修を進めるために

それぞれの年代、年齢、経験のある保育者が園内研修で感じるプレッシャーを解消していく。

ファシリテーターとして…

みんなの意見を引き出し、話の流れをイメージし舵取りを進めていく。

- 1) 話しやすくする
- 2) しかけをつくる
- 3) 「なぜ」に目をむける
- 4) 解釈を広げる
- 5) 振り返る、検討する
- 6) できることをする



楽しく話をしたり相談したりしたら、自分のプラスになることが返ってきたという場に！

グループ討議

～園内研修を進めるにあたって～

○ 各ブロックに分かれて話し合い、それぞれのグループの報告を行う。

【みてほしいポイントを聞く】

- ・ 事前に見てほしいポイントを聞いておくことで、意見が出やすくなる。
- ・ 園内研修をする保育者の悩みなどを事前に聞いておくことで、意見も出やすくなるし、悩みを解決するアドバイスがもらえるのではないかと

【うまくいったこと】

カンファレンスを行っていく中で、悩みはたくさんあるが...

- ・ 意見が出ないときには、「～についてどうですか？」と具体的な言葉をそえて意見を求めると、発言してくれる。
- ・ 写真などを使って方向性を明確にすると意見が出やすくなり、みんなで共通理解することができた。
- ・ みんなで考えて共感できるような場にしたい。
そのためには、きっかけを作ることが大切なので、ポイントをしばったり、写真などを提供すると良い。

【テーマを決める】

- ・ 環境についてなど、日頃なかなか話せないテーマについて意見を求めることで共通理解する場になる。

【最後のまとめ方って...】

- ・ 意見を全部ひろうーひろいすぎるとまとまらない
- ・ 明日からの保育につながるようにまとめるのは難しい
- ・ 自分がまとめなくっちゃ... というプレッシャー

方向性を最初に決めておく最後のまとめがやりやすくなるのでは...



○ 横山先生より講評

生活、保育を行っていく中で予測できないことがたくさん起こってくる。その時々で保育者一人一人の意見が役立ってくるからこそたくさんの引き出しがある方がいい。しかし副園長の立場としてその引き出しをまとめていくことが課題になってくる。一人でやろうとするのではなく副園長として、同じ立場の人がこのような場で繋がりに一緒に課題解決をしながら、互いに高め合っていけるようにしていきましょう。